



ふれあいネットワーク

社会福祉法人奈良県社会福祉協議会 広報紙

奈良県

福祉だより



2025

No.570

CONTENTS

P 2-3 【特集】

インタビュー

この人に逢いたい! 聞きたい! 話したい!

「ほっと・はーと・なら」

「つどう・つながる・元気になる」

まちのカタチ

～住民がつくる地域の通いの場づくり～



ひかりが丘自治会

P 4-5

シリーズ

人がつながり、
まちを元気に

—地域づくりの潮流

第2回

「わたし発」から生まれる活動

P 6-7

福祉人材ニュース

地域別福祉の就職フェア

を開催します!

10/25 10/26

奈良市ならまちセンター

奈良で保育の
お仕事しませんか

P 8

福祉人材ニュース

研修のおしらせ

傾聴からはじまる

ストレングス発見研修

P 10-11

赤い羽根共同募金

情報

共同募金運動に

ご協力をお願いします

奈良県共同募金会の取り組み

P12

奈良県中央善意銀行

令和6年度報告

地域福祉活動に

ご支援・ご協力

ありがとうございました

奈良県
社会福祉協議会



奈良
ボランティアネット



福祉だより



この人に逢いたい!聞きたい!話したい!「ほっと・はーと・なら」

「つどう・つながる・元気になる」まちのカタチ

～ 住民がつくる地域の通いの場づくり ～

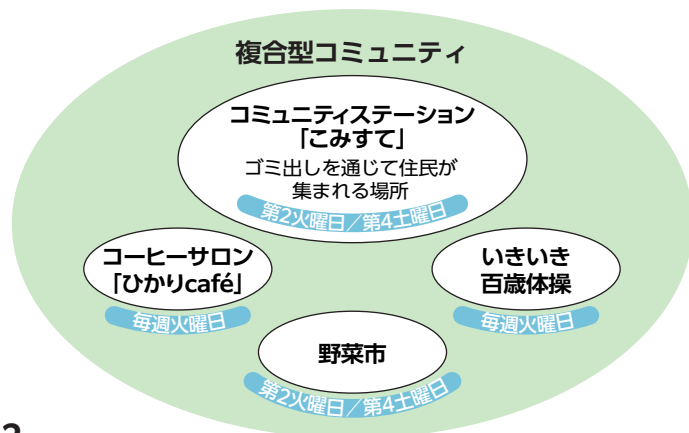
奈良に縁のある多彩な分野で活躍されている方々にスポットをあて、活動への熱い想いと「福祉（幸せ）」についてお話をお伺いするこの特集。

今回は、日々の暮らしのなかで自然と人が集まり、元気になれる“通いの場”づくりに取り組む「生駒市ひかりが丘自治会」のみなさまにお話を伺いました。



▲左/市川氏(通いの場運営担当) 右/福中氏(顧問)

平成 29 年度より集会所を拠点に、地域の助け合い、支え合いの仕組みづくりとして活動をスタート。



Q どのような活動をされていますか？

A 地域の助け合い・支え合いの仕組みづくりのきっかけとして、集会所を拠点に平成29年度に『コーヒーサロン「ひかりcafé」』を始め、毎年『いきいき百歳体操』『野菜市』『コミュニティステーション（以下こみすて）』等様々な取り組みを行ってきました。

活動は自治会のボランティアメンバーだけでなく、フォレスト包括支援センターや企業の協力も得ながら実施しています。

■ コミュニティステーション(こみすて)

ゴミの分別で
住民同士の交流が
深まる



子どもの
居場所にも



ホっと一息…



Q 『通いの場』に込める思いを教えてください

A 参加される方々にとって日常の習慣となり、自然と人が集まる場所になればと願っています。特に「こみすて」は、生駒市の市制50周年を機に、次のまちづくりの柱として行政から提案があったもので、「ごみを捨てる」という誰にとっても日常的な行動を通じて、人が顔を合わせ、声をかけ合うことができるという点に共感し、取り組みを始めました。これまで続けてきた「サロン」や「いきいき百歳体操」なども組み合わせることで、良い相乗効果を生み出していると感じています。

「サロン」や「こみすて」はあくまで“きっかけ”。最終的には、『ここに来れば誰かがいる』『話ができる』『楽しい』と思ってもらえるような、そんな居心地の良い場所になってほしいと思っています。

■野菜市

2グループ構成で、エリアを変えながら収穫した野菜を市販のものより安く住民の方に購入していただけるよう販売



■体力測定の様子



■朝から長蛇の列が



Q 活動をしていて大切だと思うことは何ですか？

A 継続は力なりとよく言われますが、本当にその通りだと感じています。けれども、ただ続けるだけでなく、“人とのつながり”があってこそ、無理なく楽しく続けていけるのだと思います。

私たちが大切にしているのは、「自分たちが楽しく」「負担が大きくなりすぎないように」「運営側が孤立しないように」することです。そのためには、支援する人・される人という関係にとどまらず、参加する誰もが何かしらの“役割”を持つことが大切だと考えています。

支援する人とされる人を分けず、みんなが自然に役割を持つことで、生きがいや通いの場に足を運ぶきっかけになり、人と人とのつながりが生まれていけばうれしいですね。

Q 今後の展望を教えてください

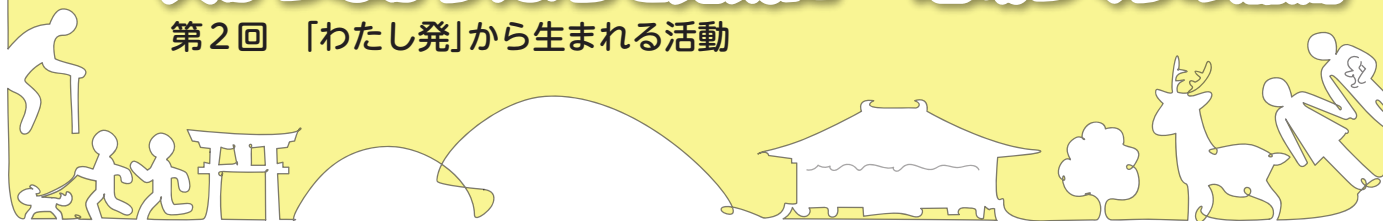
A 暮らしたくなる地域は、自分たちで創っていくものだと思います。今は運営も参加者も高齢の方が多く、今後は規模が縮小していくかもしれません。それでも、たとえ参加者が一人になっても続けていこうという思いを大切にしながら、取り組んでいます。だからこそ、これからの地域を担う次世代の方々も加わっていただき、一緒に通いの場を創っていただけたら嬉しいです。



右/児島氏(自治会長)▲

人がつながり、まちを元気に— 地域づくりの潮流

第2回 「わたし発」から生まれる活動



県内では、住民が互いに支え合い元気に暮らす姿が見られます。しかし、地域社会の状況が変化するにつれ、地域活動のあり様も少しずつ変わってきています。今回は、興味や関心から始まる「わたし発」や「テーマ型」の地域活動について県内の取り組み事例とともにお伝えします。

<社会の変化をふまえた新たな地域づくりへの転換>

現代の地域社会は、少子高齢化や人口減少、家族の規模が小さくなり単身世帯が増えているなどの変化が生じています。自治会をはじめとする地域組織運営の困難さや、さまざまな地域活動の担い手不足といった課題も聞こえてきます。

一方で、新たな動きも生まれています。興味や関心があることを出発点とする「わたし発」の活動です。「気になることがある」「楽しいことがしたい」とのわたしの思いが活動の原動力です。

また、一見「福祉っぽくない」テーマから始まる活動から、地域のつながりを高めていく動きも見られます。

<ご飯は大切、から始まる活動>

生駒市で「たわわ食堂」を運営する溝口雅代さんは、訪問した児童施設の手づくりの食事の美味しさに感動したと言います。周りをよく見てみると、こどもたちの食事の実態も見えてきました。「ご飯は大切」という「わたし発の思い」から、「できたてのご飯」と「つくるまでの過程」を分かち合うことに取り組もう！と、こども食堂の立ち上げを決心しました。

地域の理解を得ることに時間はかかりましたが、口コミやSNSを通じて地域のボランティアさんが徐々に増え、こどもたちに細やかな気配りをしてくれたり、作った野菜を分けてくれたり、心強い仲間となりました。

また、活動を通じてさまざまな人と知り合う中で、高齢者、教育、観光…と関心が広がり、新しい活動展開にもつながりました。溝口さんの「わたし発」で始まった活動は現在、たくさんの仲間と楽しさを分かち合いながら「わたしたち発」の活動に広がっています。



<道の駅でマルシェをひらこう>

東吉野村で始まった「ぬくもり協議体」(*)では、地域愛にあふれるメンバーが地域のつながりづくりを進めようと話し合うなかで、「道の駅」に注目しました。閉まっていることの多かった農産物直売コーナーを利活用し、住民が物産（農産物や山菜、生活雑貨、手作り小物など）を持ち寄り「いちたつマルシェ」をスタートさせました。

世代を問わず集まる場ができたことで、「長い間出会えていなかった人と再会できた」「コロナ禍で外出できていなかった



が久しぶりに楽しかった」など再会や新たな出会いのきっかけとなっています。「福祉」だけにこだわらず、マルシェという敷居の低い「入口」にしたことも功を奏しているのかもしれませんが。

また、この活動から派生して、移動販売や移動図書館も始まりました。それぞれの活動は仲間を募って、有志のグループで運営しています。特定の人だけが抱え込むのではなく、テーマごとに興味ある人が力を出し合っていることも活動継続のヒントになります。

※「協議体」…介護保険制度の生活支援体制整備事業で設置する、支え合いの地域づくりをめざす話し合いの場。

＜地縁団体とテーマ型組織がゆるやかにつながり、お互いが活かされる地域に＞

興味や関心から始まる活動は、「テーマ型」とも言われます。防災、こども、まちおこし、環境問題、教育などさまざまなグループが、皆さんの地域にもあるでしょう。このようなグループは自由に活動していますが、お互いにあるいは地縁型の団体と知り合う「ゆるやかに交わる機会」があると、新たな気づきやコラボのきっかけにもなり、地域全体の元気度も高まります。

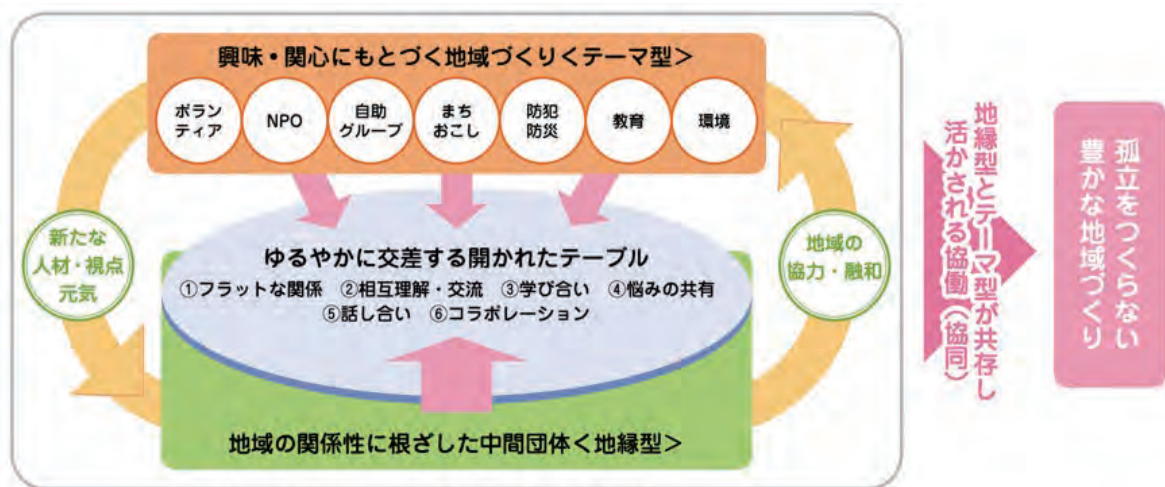


図2 地縁型とテーマ型の融合のイメージ

＜おわりに＞

「わたし発の活動」や「テーマ型活動」には、自由な発想によるおもしろさがあります。「わたし発」の思いが人を惹きつけ、思わぬ化学反応で「わたしたち発」に発展していくこともあり、可能性は無限大です。

福祉分野にこだわらず地域を見渡してみると、さまざまな知識や性格、得意技をもつ多世代がごちゃまぜに力を出し合う活動が県内各地に生まれています。地域社会の厳しい変化はありますが、いろいろなカタチで人がつながることにより、まちが元気になる可能性はますます広がっていくのではないのでしょうか。

- 令和6年度、奈良県社会福祉協議会では、県の委託を受け、県内の各市町村で展開される生活支援体制整備事業をはじめとする、**地域づくりの活動事例をまとめた事例集**を作成しました。今回紹介した事例をはじめ、県内の活動にまつわるエピソードや工夫などを掲載しています。
(奈良県社会福祉協議会HPに掲載)



地域別福祉の就職フェアを開催します!

皆さんは合同企業説明会に参加されたことはありますか?
初めて参加される方、参加に不安をお持ちの方の疑問にお答えしていきます!

福祉の就職フェアってどんなイベントですか?

一度に多くの福祉事業所が集まり、働きたい人と福祉事業所が出会えるイベントです。多くの事業所と直接特長を比較することにより、自分の希望する職場を探ることができます。



福祉事業所のどんなところを比較すればいい?

①職場の雰囲気、②仕事内容、③賃金・手当などを重点的に比較することが多いです。通勤のしやすさ、職場の理念・方針などを重視されている方もいらっしゃいます。

福祉事業所とどんなお話をすればよいですか?

ブースでは採用担当者から法人概要や、若手職員から実際に働いている様子などを教えてくれる場合もあります。

より具体的にお話を進められるように、自分の希望条件(勤務体系・給与面など)を考えておきましょう。

面接の場ではありませんが第一印象が大切ですので、積極的な姿勢を心がけると良いです!



準備しなくてもお仕事探しできる?

無理な勧誘・案内・連絡
はありません!!

できます! スーツや履歴書も要りません!気軽にお越しいただけます。働き始めてミスマッチが起きないようにキャリア支援専門員と相談しながらフェアを回ることもできます。

入場の際に希望条件などを登録していただけますが、個人情報管理を徹底しておりますので、安心して参加していただけます。

福祉・介護のお仕事は、これからの社会に欠かすことのできないお仕事です。ぜひお住いの地域に貢献できる福祉・介護の仕事に挑戦しませんか?皆様のご来場をお待ちしております。

地域別福祉の就職フェア in 奈良

日時 **令和7年 10月25日(土) 26日(日)**
12:00 ~ 16:00

各日 14 法人、2 日間で 28 法人が参加!

会場 **奈良市ならまちセンター** 市民ホール
奈良県奈良市東寺林町38

事前予約が便利です!

詳細はコチラ! →



SNS やってます! 最新情報をチェック!



YouTube



奈良県内では保育人材の確保が課題となっています。

「奈良県保育人材バンク」では、保育士や放課後児童支援員として働くことを希望する方と保育施設や放課後児童クラブとのマッチングを行っています。



利用の流れ

- 登録** 来所や電話、下記ホームページから行えます。
- 相談** 就職コーディネーターがご希望を伺い、条件に合う職場をお探しします。
- 見学・体験 (希望者のみ)** 自身が働くイメージをしながら体験できます。不安のある方はキャリアアドバイザーが同行することもできます。
- 紹介** 面接などの日程調整を行います。
- 面接** キャリアアドバイザーが面接準備などのお手伝いをします。
- 採用** 就職後の相談も対応します。



利用者の声



保育人材バンクの担当の方が、丁寧に聞き取りをしてくださったり、希望に合う求人を紹介してくださったりと、安心して転職活動を進めることができました。ありがとうございました。(20代前半女性)

就職コーディネーターが支援してくださったおかげで、とても不安だった就職活動をスムーズに進めることができました。背中を押してくださって本当に感謝しています。(20代半ば女性)



お問合せ先 奈良県保育人材バンク TEL : 0744-29-0160

お仕事探しはこちらまで→



ホームページ



NARAHOKUBANK

←最新イベント情報
保育園の取り組みを
発信中!!

あなたのキャリアアップを 応援します！

傾聴からはじまるストレングス発見研修

利用者さんの「ほんとうの強み」見えていますか？

利用者さんの「できていること」や「その人らしさ」にあらためて目を向けてみませんか？この研修では、生活場面の何気ない会話から見えてくる援助のヒントに焦点を当て、『ご利用者へのインタビューを撮影した映像』を題材に、受講生がさまざまな視点でグループ討議を重ねながら、利用者を理解する力を深め、利用者のストレングス(強み)を見出すトレーニングを行います。利用者さんとの関わり方が変わると、支援のかたちも変わってくるかもしれません！

研修日程 令和7年12月5日(金) 9:30~17:00

対象者 県内社会福祉施設・事業所等にて利用者の相談業務や
介護業務等に従事し、概ね3年以上の経験を有する方

講師 奥西 栄介氏 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
社会リハビリテーション学科 教授

昨年度受講生の声

利用者さんのことを知っているつもりになっていた。「相手を知る」基本を思い出せました。

(障害者関係・介護職)

私自身が今までしてきた傾聴は本当に傾聴と言えるのかと考え、振り返るきっかけになりました。

(老健・介護職)

答えは出なくても考えることが大切。それでいいんだなと思い、安心しました。
(デイ・介護職)

傾聴し、傾聴されることがどれだけ気持ちのいいことかを知ることができました。

(障害者関係・相談職)



詳細はコチラ



New

令和8年度より研修のお申込み方法が変わります！

来年度より、お申し込み・履歴管理がスムーズになる、「**研修管理システム**」を導入予定です。登録および利用は無料、研修受講の一連の流れがマイページで完結します。申込期間内であれば、マイページから内容の変更・キャンセル・確認が可能です。詳細は次号に掲載いたします！





社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用			死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

見舞費用付補償(B型)

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所: 1,300円
通所: 1,390円

2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
- 2 使用者賠償責任補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償
- 5 役員・職員の傷害事故補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



赤い羽根共同募金

つながりをたやさず支えあう社会づくり

情報

赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします。

運動期間：10月1日～3月31日

募金目標（助成計画）額 150,000,000円








皆さまからお寄せいただいた寄付金は、共同募金助成として県内の福祉団体、NPO法人、ボランティアグループ、社会福祉協議会などの民間団体にお配りし、障害児・障害者、高齢者、子ども・若者、生活に困窮されている方などの支援活動や、災害時のボランティア活動の資金として役立てられています。

また、奈良県共同募金会では、6つのテーマを重点助成分野(*)として、さまざまなメニューにより助成を行っています。

※重点助成6分野

- ① 誰をも受け入れ、誰もが参加できる地域づくり
- ② 健康でいきいきと暮らし続けられる地域づくり
- ③ 生きづらさを抱える子ども・若者とその家族への支援
- ④ 災害ボランティア活動・防災・減災活動への支援
- ⑤ 生活に困難を抱える人たちへの緊急支援
- ⑥ 福祉のこころ芽生える人づくりへの支援

< 令和7年度助成計画 >

住民全般 <ul style="list-style-type: none"> ◆福祉に関する情報発信 ◆小地域ネットワーク活動 ◆ボランティア活動支援 ◆福祉出前講座 	 <p>57,191,000円</p>	高齢者 <ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者見守り活動 ◆ふれあいサロン ◆配食サービス ◆傾聴ボランティア養成講座 ◆歳末見舞金等 	 <p>24,372,000円</p>
生活困窮者等 <ul style="list-style-type: none"> ◆更生保護活動 ◆生活困窮者へのフードドライブ等支援 ◆相談・訪問活動等 	 <p>5,219,000円</p>	子ども・子育て <ul style="list-style-type: none"> ◆こども食堂 ◆子育てサロン ◆ひとり親家庭交流会 ◆福祉体験学習等 	 <p>8,531,000円</p>
障害児・障害者 <ul style="list-style-type: none"> ◆体育・スポーツ大会 ◆手話通訳ボランティア養成講座 ◆障害者の自立・就労支援等 	 <p>13,947,000円</p>	安全・安心に暮らせる居場所づくり等	<p>「赤い羽根募金 奈良県び〜すぺ〜すプロジェクト」 公的な制度だけでは解決できない福祉課題・地域課題に関する活動 ◆多世代交流 ◆無料学習塾 ◆こども食堂等 2,866,000円</p> 
災害発生時の支援	<p>大規模災害発生時の災害ボランティアセンターの設置・運営等を支援(積立金)</p>  <p>4,500,000円</p>	運動推進	<p>共同募金運動推進費</p> <p>33,374,000円</p>

共同募金にはさまざまな募金方法があります。

インターネットを通じた寄付

クレジットカード、PayPay(*), コンビニ支払、ペイジー、携帯(キャリア)決済でオンラインによる寄付ができます。

また、Yahoo!ネット募金、ソフトバンク「つながる募金」、ブックオフ・メルカリを通じた募金等もあります。詳しくは、中央共同募金会HP「寄付をする」をご覧ください。



※PayPayで寄付する際のご注意

寄付するには、PayPay残高(PayPayマネー)のみご利用いただけます。PayPayマネーライト、PayPayポイント、PayPayクレジットはご利用できません。寄付は、PayPayステップの付与およびカウントの対象外となります。



オンライン寄付、PayPay
匿名寄付はこちら

受取者を指定する寄付

寄付者が社会福祉事業や更生保護事業を行っている特定の法人と使いみちを指定して寄付する方法です。税制優遇制度があり、審査を経て条件を満たせば、法人の場合は寄付金額の全額が損金算入されます。



共同募金へのご寄付には税制優遇制度があります

- ◆個人の場合 所得税は所得控除または税額控除の対象、住民税は税額控除の対象となります。
- ◆法人の場合 法人税について「全額損金算入」となります。

寄付金が役立てられている福祉団体から寄付者への 「ありがとうメッセージ」

「虐待・親にもケアを」 MY TREE ペアレンツ・プログラム による親支援

子育て支援サークル野の花ほっとスペース(天理市)

参加者は、このプログラム中で自分の人生を語り、また仲間の語りを聴き、自分向き合いをしています。押し込めていた感情を人に語ることで自分を知ることができ、価値のない人生と思っていたことも肯定的に受け止めることができるようになり、親自身の回復、親子関係の修復が可能となりました。ご寄付いただき、本当にありがとうございます。



高齢者応援プロジェクト 矢田っ子倶楽部(大和郡山市)

シニア・ジュニア及びその家族の方々が、大和郡山市矢田地区を中心に借りている畑に作物を植え、収穫の楽しみをみんなで喜んでいきます。収穫した作物でどんな料理が作れるかと休息時に話をし交流しています。休耕田を借り、一面に「ひまわり」を植える活動もしており、子どもたちとの交流も多くなりました。私たちの活動に賛同いただき、ご寄付をしてくださった皆さまのおかげです。



聴覚障害者の困りごと相談 及び手話言語の啓発

空の旅団(高取町)

手話交流や公演活動を通じて、ろう文化や手話への理解が深まり、多くの方々にとって貴重な学びと交流の機会を提供することができました。また、ろう者の相談支援を通じて、一人ひとりが安心して自分らしく生きるためのサポートを行うことができました。この活動を通じて、多くの方々が手話やろう文化に触れ、新たなつながりが生まれたことをとても嬉しく思います。皆さまのご支援が、この大切な一歩を支えてくださいました。



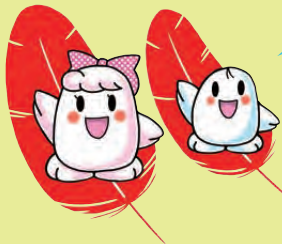
生活困りごと何でも相談会 及びフードパントリー

上牧町社会福祉協議会(上牧町)

生活困窮者世帯への食の安定と、顔を合わせて話すことにより、より詳細に生活状況の把握につながりました。さまざまな困りごとへの対応は困難でしたが、精神的ストレスの解消や困りごとの整理につながりました。相談してもいい機関であると認識していただけたと思います。生活困窮にある高齢者世帯、ひとり親家族などに貴方の気持ちが届きました。



助成金を希望される団体の皆さまへ



一般募金・NHK歳末たすけあい募金等を財源に、
地域での民間福祉活動・支え合い活動(令和8年度実施事業)に助成します。
【助成申請受付期間】令和7年10月27日(月)~令和7年12月12日(金)
市町村域をまたがる活動や単一市町村域内での活動への助成など、さまざまな助成メニューがあります。
詳しくは、ホームページ等に掲載します(令和7年10月中旬予定)

社会福祉法人 奈良県共同募金会

〒634-0061 橿原市大久保町 320 番 11 奈良県社会福祉総合センター 4F

TEL : 0744-29-0173 FAX : 0744-29-0174

E-mail : info@nara-akaihane.com



県共募 HP



公式Instagram

奈良県中央善意銀行 令和6年度報告

多くの方々から地域福祉活動推進のために 温かい善意のご寄付を頂戴いたしました。

ご支援・ご協力ありがとうございました。

ご寄付いただいた方々（敬称略・五十音順）

- (一財)近畿陸運協会
- (一社)生命保険協会 奈良県協会
- (株)アミパラ アミパラ橿原店
- (株)エン・コンシェル
- (株)OBS
- (株)栗原製作所
- (株)ケーエスケー
- (株)ジェイテクト
- (株)ジェイテクトサーモシステム
- (株)そうごう
- (株)奈良大和生薬
- (株)南都銀行
- (株)バルカーシールソリューションズ
- (株)バンビシヤス奈良
- (株)ホンダネット京奈
- (株)マルヒサ
- (株)やまと蜂蜜
- 関西遊技機商業協同組合
- 近畿労働金庫 奈良地区本部
- (公財)森田記念福祉財団
- (公社)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 奈良県協会
- (社福)恩賜財団済生会御所病院
- 全国共済農業協同組合連合会 奈良県本部
- 大和ハウス工業(株)奈良工場
- 天龍化学工業(株)
- 奈良OAシステム(株)
- 奈良観光バス(株)
- 奈良県自動車販売店協会
- 奈良県退職女教師の会
- 奈良県トラック協会 ダンプ部会
- 奈良県農業協同組合
- 奈良県遊技業協同組合
- 奈良県理容生活衛生同業組合
- 奈良交通(株)
- 奈良市ポイント運営事務局
- 奈良テレビ放送(株)
- ナルク奈良
- ニチアス(株)
- ニッタ(株)
- 日本生命保険相互会社
- ビッグテクノス(株)
- 富国生命保険相互会社奈良支社
- GMB(株)
- The Grand Group

頂戴したご寄付は奈良県内のボランティア・NPO団体等の地域福祉活動に助成し、有効に活用させていただきました。

助成団体一覧

計13団体 助成総額 1,710,000円

【ビギナーコース】

- そのとびらを開けてみる会
事業名：そのとびらを開けてみる会
- ぼんやりかふえ Hoko hoko
事業名：Hoko hoko 学びの場計画
- あんじえびーす
事業名：あんじえの Café Room ～ゆるゆる Mother's time～
- もったいない NARA
事業名：奈良県内市町村社協における「食」の支援ネットワークづくり
- 蓮友の会
事業名：蓮カフェ ～老若男女の友達づくりプロジェクト!!～
- かんまき女性防災ネットサークル
事業名：避難場所における女性リーダー養成講座
- にじいろ
事業名：ケアラズカフェ
- 全国ギャンブル依存症家族の会 奈良
事業名：ギャンブル依存症基礎知識セミナー&家族相談会 in 奈良
- 広陵遊笑会
事業名：Best memories of the year ～1年で最高の思い出をつくろう!～
- ココロとカラダ祐気堂
事業名：家族と実践できる「かんたん健康法教室」
- 特定非営利活動法人 年輪
事業名：作業所をサロンとして開放 年に数回講座を開催
- 「えほんの玉手箱」
事業名：「えほんの玉手箱」

【ステップアップコース】

- 不登校等の親の会 いなほ
事業名：小中学生行状、不登校等の自立、学習支援及び居場所づくり事業

福祉だより 569号でご紹介しました。



お問合せ先 総合ボランティアセンター

TEL：0744-29-0155 FAX：0744-26-0234

発行所/社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会 〒634-0061 奈良県橿原市大久保町 320-11

TEL.0744-29-0100(代) FAX.0744-29-0101

編集者/事務局長 井ノ上 晶 ■発行/年4回 ■定価/1部10円(会員の購読料は会費に含む) ■印刷所/やまとびと株式会社